



# 岐阜中週報

## SERVICE Above Self

超私の奉仕 R.I.会長 カール・ヴァルヘルム・ステンハマー

会長 音瀬 晴夫  
 幹事 内木 一博  
 発行者 ウェブ委員会  
 委員長 林 忠勝  
 例会 毎週火曜日 12時30分  
 会場 岐阜都ホテル  
 事務局 岐阜市神田町 2-2  
 電話 264-9235 番

平成 18 年 4 月 11 日(火)  
 第 655 号  
 第 732 回例会

### 会長挨拶

会長 音瀬晴夫

本日は、お忙しいなか、多数の方に観桜夜間例会にご出席をいただき誠にありがとうございます。

ほころびかけた蕾も先週の雪で幾分足踏みをしたようで、このあたりの桜は、五分咲きといったところではないでしょうか。岐阜県の桜の名所は、この岐阜公園や長良川堤のほか、たずさえの森にあります千本桜を始めとして数多くありますが、全国的にも有名な場所としましては、樹齢1,500年の根尾の薄墨桜や1,100年の高山の臥龍桜などが挙げられると思います。

桜と言えば“お花見”のほか、“入学式”“門出”や“人との出会い”を連想される方も多いでしょうが、桜への想いは昔も今も変わらないようでございます。

古今和歌集に在原業平が“世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし”という歌を詠んでいます。これは、「世の中に全く桜というものがなかったならば、春が来ても人は花の散るのを惜しんだり、

盛りを見ようと騒いだりすることもなく、心穏やかに過ごせたであろうに」と、桜を愛する気持ちを表しているものです。

これに対して、“散ればこそいとど桜はめでたけれうき世になにか久しかるべき”という返歌がありますが、この歌は「この無常の世に永久に留まっているものなど何もなく、桜は散るからこそ、今この時しかないと思うからこそ魅力的なのだ」というものです。

まさに、日本人の桜に対する想いを趣き深く表現していると思いますが、いつの時代になっても、僅か1週間程しか咲かない桜の開花を待ちわび、祭りを催したり宴を開いたりする理由がそこにあるように思いますし、最近「さくら」というタイトルの曲がヒットしているのも、日本人の心を表しているからでしょう。

かの有名な庄川桜は、御母衣ダム建設により湖底に沈む運命にあった2本の桜を国道沿いに移植したのですが、その庄川桜の生命力に感動して、「太平洋と日本海を桜でつなごう」と決意を固め、名金線沿線にひたすら桜の苗木を植えられた旧国鉄バス名金

線(名古屋と金沢を結ぶバス路線)の車掌(佐藤良二)さんの話はよく知られています。桜の花のトンネルを歩き来して太平洋に住む人々と、日本海側に住む人々とが、明るく親密に結び合えることを願って苗木を植えたと言われています。

本年は、天皇皇后両陛下をお迎えして第57回全国植樹祭が下呂市萩原をメイン会場に開催され、当クラブは参加する予定をしておりますが、このように協力し合って行う植樹は人と人とを結びつけるほか、地球温暖化の原因となっております二酸化炭素の削減にも大変重要になってきています。

わたしども中ロータリークラブにおける地元「たずさえの森」での育樹や植樹等の活動は、まさにこの精神に通じるものだと思います。

当クラブにおいては、今後もこういった事業を通じて、会員の皆さんがロータリアンの精神を共有して、クラブの発展に努めて参りたいと思いますので、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

### 前例会の記録

平成18年4月4日(火)

[点鐘] 18時30分

[ソング] 我等の生業

[ゲスト]

落語家 鶴羽亭 円造様

[ビジター]

[出席率] 会員総数43名

(出席免除0名、猶予0名)

本日出席 31名72.09%

[行事] 会長挨拶 食事 幹事報告

委員会報告 ニコボックス報告

[卓話] 『観桜夜間例会』

於 料理旅館 きんか

担当 親睦活動委員会

### 本日の予定

第732回

平成18年4月11日(火)

[点鐘] 12時30分

[行事] 卓話「今 美術館は・・・」

岐阜県美術館 館長

古川 秀昭様

担当 副会長

### 次回予定

第733回

平成18年4月18日(火)

[点鐘] 12時30分

[行事] 会員卓話「環境保全

について」 R.I2630地区

環境保全委員 故金正司様

担当 副SAA

# 観桜夜間例会

於：料理旅館 沁か  
平成18年4月4日



(ゲスト) 落語家 鶴羽亭 円造様

